

大同特殊鋼 名演奏家シリーズ 2026

吉見友貴 ピアノ・リサイタル



今年の名演奏家シリーズは、海外で研鑽を積む気鋭のピアニストからスタート！
2025年には“世界一過酷なコンクール”として知られるエリザベート王妃国際音楽コンクールでファイナリストとなり、一躍注目を浴びることとなりました。
名演奏家のステージでは、渾身のプログラムで聴衆を魅了すること間違いありません！

〈曲目〉
ショスタコーヴィチ：24のプレリュード Op.34
ショパン：24のプレリュード Op.28 ほか

電気文化会館
ザコンサートホール

8/22 土 15:00開演
(14:15開場)

入場料 一般 ¥4,000 U18 (小学生～高校生) ¥2,000 (全席指定・税込)
Pコード 322-041 Lコード 43067 ※未就学児入場不可

俺クラ・スペシャル 石田泰尚×三浦一馬×京増修史×辻本玲



日本のクラシック界に旋風を巻き起こしているカリスマヴァイオリン奏者・石田泰尚と、バンドネオンの貴公子・三浦一馬、ショパンコンクール出場の京増修史、N響首席奏者のチェリスト・辻本玲らがタッグを組んでお届けする、“俺のクラシック”スペシャル版！超贅沢なひとときをお楽しみください！

〈曲目〉
ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー
ガーシュウィン：「ガール・クレイジー」序曲
ピアソラ：ブエノスアイレスの夏
ピアソラ：現実との3分間 ほか

刈谷市総合文化センター アイリス 大ホール 12/13 日 15:00開演
(14:15開場)

入場料 一般 ¥6,000 U18 (5歳～高校生) ¥2,500 (全席指定・税込)
Pコード 322-044 Lコード 43320 ※5歳のお子さまからご入場いただけます。

横坂源&小林愛実 デュオ・リサイタル



再開館するしらかわホールでお楽しみいただくのは、ショパンコンクール第4位入賞から5年、名演奏家シリーズではお馴染みの小林愛実と、昨年11月の名演奏家シリーズの室内楽(辻彩奈と仲間たち)で好評を博したチェリスト・横坂源によるデュオ・リサイタル！

〈曲目〉
ショパン：序奏と華麗なるボロネーズ 八長調 Op.3
クライスラー：愛の悲しみ
ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第3番 一長調 Op.69
シューマン：幻想小曲集 Op.73
ブラームス：チェロ・ソナタ第1番 ホ短調 Op.38

しらかわホール 9/13 日 15:00開演
(14:15開場)

入場料 一般 ¥5,000 U18 (小学生～高校生) ¥2,500 (全席指定・税込)
Pコード 322-042 Lコード 43101 ※未就学児入場不可

阪田知樹 TOMOKI PLAYS SAKATA+vol.3 ピアノ・リサイタル GUEST: 上野耕平*



コンポーザーピアニスト・阪田知樹が自作曲の世界初演を披露する“TOMOKI PLAYS SAKATA+”。2024年から始まった好評企画のvol.3を名演奏家シリーズにラインナップ。今回のゲストは、人気のサクソフォン奏者・上野耕平！ご家族でお楽しみいただける名曲盛り沢山でお届けします！

〈曲目〉
ガーシュウィン(アール・ワイルド編曲)：アイ・ガット・リズム
ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー(ピアノ独奏版)
ガーシュウィン：3つのプレリュード(サクソフォンとピアノ版)*
バーンスタイン：ミュージカル《ウェスト・サイド・ストーリー》より
「Tonight」(サクソフォンとピアノ版)*
ジョン・ウィリアムズ：エスカベイド(映画《キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン》より)第3曲「Joy Ride」*
阪田知樹：ハノン氏によるワルツ
阪田知樹：アルト・サクソフォンとピアノのためのソナチネ*
阪田知樹：アルト・サクソフォンとピアノのための新作(世界初演)* ほか



東海市芸術劇場 大ホール

1/11 月祝 2027 15:00開演
(14:15開場)

入場料 一般 ¥5,000 U18 (5歳～高校生) ¥2,500 (全席指定・税込)
Pコード 322-046 Lコード 43357 ※5歳のお子さまからご入場いただけます。

5月9日(土) 10:00～ 一般発売開始

【アイ・チケット】 ☎0570-00-5310 【アイ・チケット web】 <https://t.pia.jp/> 【チケットぴあ】 <https://t.pia.jp/> 【イープラス】 <https://eplus.jp/> 【ローソンチケット】 <https://l-tike.com/>
【芸文プレイガイド】 ☎052-972-0430 【CBCチケットセンター】 <https://www.funity.jp/cbc-tickets/>

*やむを得ない事情で公演内容、出演者など変更になる場合がございます。※車いすのお客様はご購入前にアイ・チケットまで必ずお問合せください。※8/1、1/24公演について未就学児のご入場は、ご同伴の場合でもお断りいたします。

主催 CBCテレビ <https://hicbc.com/> / 協賛 大同特殊鋼 <https://www.daido.co.jp/>

協力 CBCラジオ クラシック名古屋 / 共催 電気文化会館(中電不動産株式会社) ※8/22公演 / 後援 東海市・東海市教育委員会 ※2027.1/11公演
刈谷市・刈谷市教育委員会 ※12/13公演

お問合せ
CBCテレビ 事業部 平日10時～18時
☎(052) 241-8118

吉見 友貴(ピアノ) Yuki Yoshimi, Piano

2000年生まれ。高校2年在学中、第86回日本音楽コンクールで最年少優勝を果たす。2025年エリザベート王妃国際音楽コンクールファイナリスト。上岡敏之、飯森範親、大野和士、ヴァハン・マルディロシアン、ダレル・アンをはじめとした指揮者、ブリュッセル・フィルハーモニック、ワロニー王室室内管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団等と共演。浜離宮朝日ホールや王子ホールでリサイタルを開催する他、五嶋みどりが音楽監督を務めるラヴィニア音楽祭に出演。また、室内楽にも積極的に取り組み、CHANEL Pygmalion Days室内楽シリーズ、Music Dialogueへの出演や、ニューヨーク・フィルハーモニックやフィルハーモニア管弦楽団など国内外主要オーケストラのメンバーで構成された、ヴェリタス弦楽四重奏団と共演している。現在、ニューイングランド音楽院に奨学生として在学中。ダン・タイソン、アレクサンダー・コルサンティア、上野久子、伊藤恵の各氏に師事。2015年アリオ桐朋音楽賞受賞。2019年度、2020年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。2020年度江崎スカラシップ奨学生。第51回江副記念リクルート財団奨学生。2024年には日本コロムビア/DENONレーベルよりデビューアルバム「リスト:ピアノ・ソナタ」をリリースし、好評を博している。



横坂 源(チェロ) Gen Yokosaka, Cello

新潟市出身。桐朋学園女子高等学校(男女共学)、同ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。2002年全国日本ビバホール・チェロコンクール史上最年少(15歳)で第1位。2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位。出光音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、ホテルオークラ音楽賞など多数受賞。13歳でソリストデビュー。2019年/2020年には、ドイツでWürth PhilharmonikerとS.スヴィリドフのチェロ協奏曲「つばき」の新作委嘱・世界初演と東京交響楽団(齋藤友香理指揮)と日本初演、また日本フィルハーモニー交響楽団(山田和樹指揮)とM.ルグランのチェロ協奏曲の日本初演を行うなど、目覚ましい躍進を続けている。録音は、新譜「R.シュトラウス&ラフマニノフ(ピアノ:沼沢淑音)」を含む3枚のアルバムをリリース。現在最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人。



小林 愛実(ピアノ) Aimi Kobayashi, Piano

2021年10月「第18回シヨパン国際ピアノコンクール」第4位入賞。7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たした。数多くの国に招かれ、スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラ、ソヒエフ指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管など国内外の多数のオーケストラと共演。2010年に14歳でEMI ClassicsよりCDデビューし、サントリーホールで日本人最年少となるリサイタルを開催した。2015年10月「第17回シヨパン国際ピアノコンクール」ではファイナリストとなった。2018年にはワーナー・クラシックスとインターナショナル契約し、「ニュー・ステージ〜リスト&ショパンを弾く」をリリース。2021年8月CD「ショパン:前奏曲集 他」をリリース。2024年11月に最新CD「シューベルト:4つの即興曲 作品142、ピアノ・ソナタ第19番 ハ短調、ロンド 長調(連弾)他」をリリース。フィラデルフィア・カーティス音楽院で、マンチェリウ教授のもと研鑽を積んだ。2022年3月、第31回出光音楽賞受賞。



石田 泰尚(ヴァイオリン) Yasunao Ishida, Violin

国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任し、現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞・芸術奨励賞を受賞。結成時から参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。最新アルバムは2021年12月リリースされた「PIAZZOLA LIVE」。2022年6月に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。使用楽器は1690年製G.Tononi、1726年製M.Goffriller。



三浦 一馬(バンドネオン) Kazuma Miura, Bandoneon

1990年生まれ。ピアニストの両親とともに幼少時代をイタリアのフィレンツェで暮らす。帰国後、10歳より小松亮太のもとでバンドネオンを始める。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出合いアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事する。2008年10月、イタリアのカステルフィダルドで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。第25回出光音楽賞受賞。若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。使用楽器は、恩師であるネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold。



京増 修史(ピアノ) Shushi Kyomasu, Piano

宮城県仙台市出身。4歳よりピアノを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業し、安宅賞、藝大クラヴィア賞、アカンサス音楽賞、同声会賞、三菱地所賞を受賞。また同大学大学院修士課程音楽研究科修了時、藝大クラヴィア賞、大学院アカンサス音楽賞を受賞。第18回(2021年)、第19回(2025年)シヨパン国際ピアノコンクール本大会に出場。2022年ロン=ティポー国際音楽コンクールピアノ部門に出場。第65回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第3位。浜離宮朝日ホール、ヤマハホール、赤坂迎賓館など各地でソロリサイタルを含む多くの演奏会に出演。ピアノを石川哲郎、田代慎之介、津田裕也の各氏に師事。2025年第28回松方ホール音楽賞受賞(神戸新聞社、神戸新聞文化財団主催)。



辻本 玲(チェロ) Rei Tsujimoto, Cello

NHK交響楽団首席チェロ奏者。7歳よりチェロを始める。11歳まで米国フィラデルフィアで過ごし、東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業(アカンサス音楽賞受賞)。その後ロームミュージックファンデーションより奨学金を得て、シベリウス・アカデミー(フィンランド)、ベルン芸術大学(スイス)に留学。2003年、第72回日本音楽コンクール第2位、併せて「聴衆賞」受賞。2007年度青山音楽賞新人賞受賞。2009年、第2回ガスバール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)、併せて「日本人作品最優秀演奏賞」を受賞。2013年、第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。ソロ活動と並行して、サイトウ・キネン・オーケストラや東京・春・音楽祭へ参加するほか、チェロ四重奏団「カルテット・エクスプローラー」、「ひばり弦楽四重奏団」、アルカス佐世保レジデンス弦楽四重奏団「アルカス・カルテット」などの室内楽にも多数参加。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は匿名のコレクターよりTourteを特別に貸与されている。



阪田 知樹(ピアノ) Tomoki Sakata, Piano

2016年フランチリスト国際ピアノコンクール(ハンガリー・ブダペスト)第1位、6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門第4位入賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キーンゲン国際ピアノオリンピックではベートーヴェンの演奏を評価され、日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20カ国以上で演奏を重ね、音楽祭への出演多数。クレムリン国際音楽祭では、オール・リスト・プログラムによるリサイタルをニコライ・ペトロフ氏が「世界一のリスト」と絶賛。2022年には、神奈川フィルハーモニー管弦楽団とのピアノ協奏曲弾き振り、及びリストの管弦楽作品日本初演の指揮を行い、指揮者デビュー。作曲家としても精力的な活動を展開しており、神奈川フィルハーモニー管弦楽団より委嘱を受けて作曲した《管弦楽のための〈肖像〉》(全音楽譜出版社)が、神奈川フィルハーモニー管弦楽団「音楽堂シリーズ第31回」(於:神奈川県立音楽堂)にて初演。阪田知樹ピアノ編曲集『ヴォカリーズ』、『夢のあとに』、阪田知樹作曲「アルト・サクソフォーンとピアノのためのソナチネ」を音楽之友社より出版。2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。国内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞、第27回ホテルオークラ音楽賞を受賞。



上野 耕平(サクソフォン) Kohei Ueno, Saxophone

茨城県東海村出身。8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。在学中からプロとしてキャリアを積み、鮮烈なCDデビューを果たす。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第1位・特別大賞(史上最年少)。2014年第6回アドルフ・サクソ国際コンクール第2位。現在、日本を代表するサクソフォーン奏者として、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団他、国内のほとんどのオーケストラとソリストとして共演。デビュー以来常に新たなプログラムに挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。自身の活動と並行してサクソフォーン四重奏「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽団「PANDA Wind Orchestra」としても精力的に活動し、クラシックと吹奏楽を両軸に、上野耕平ワールドを築き上げてきた。近年は、その音楽性をさらに指揮活動へと広げるほか、アウトリーチ活動も活発に行い情熱を注いでいる。NHK-FM「×(かける)クラシック」の司会、テレビ「題名のない音楽会」「妄想トレイン」などメディアとの相性も良い。また、音楽以外にも鉄道と車をこよなく愛し、深く追求し続けている。最新ソロアルバムは「eclogue」(2025年4月発売)

